

たつの市新宮地域小中一貫校建設基本計画 概要版

1. はじめに

新宮地域では、市立の小・中学校として、西栗栖・東栗栖・香島・新宮・越部小学校と新宮中学校がありますが、少子化に伴い、「たつの市立小・中学校の適正規模・適正配置基本方針」に基づき、今後の学校の在り方の検討を開始しました。その中で、学校の小規模化により集団活動の制限や多様な意見に触れる機会が少なくなることに加え、学校施設の老朽化も進んでおり、小中一貫教育を推進するためにも、小中一貫校を建設する必要性が高まったものです。

そこで、たつの市新宮地域に小中一貫校を建設するに当たり、校舎等の課題、備えるべき機能及び既存施設の改修など、基本設計の前提となる基本的な考え方を整理した上で、事業全体の方針について調査・検討を行い、建設規模、概算事業費、建設スケジュールなどに関する方向性を示す「たつの市新宮地域小中一貫校建設基本計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

2. 既存各校の現状

たつの市では、現在、新宮地域の小学校5校と中学校1校（以下「既存各校」という。）を一体化した小中一貫校の設置を予定しています。既存各校の生徒数を以下に示します。

西暦	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
和暦	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
小学1年生	79	81	58	55	58	54	52	51
小学2年生	70	79	81	58	55	58	54	52
小学3年生	91	70	79	81	58	55	58	54
小学4年生	71	91	70	79	81	58	55	58
小学5年生	99	71	91	70	79	81	58	55
小学6年生	87	99	71	91	70	79	81	58
計	497	491	450	434	401	385	358	328
中学1年生	97	83	95	68	87	67	76	78
中学2年生	79	97	83	95	68	87	67	76
中学3年生	101	79	97	83	95	68	87	67
計	277	259	275	246	250	222	230	221
合 計	774	750	725	680	651	607	588	549

3. 整備コンセプトの設定

国及び本市の上位・関連計画、本市の小中一貫に関する基本方針、各校の特色等を踏まえ、教育の高機能化、生活環境の向上、地域に開かれた学校等の観点から、整備コンセプトを設定します。

整備コンセプト

小・中学校が一貫し、地域との連携・交流により、子どもの「学び」と「育ち」を培う学校

① 新しい時代の学びに対応する、高機能化した学校づくり



- ・小中一貫校として、幅広い学齢の児童・生徒が日常的に異学年との交流を図ることができるとともに、小中学校の教職員が一貫した教育を行うための施設
- ・一定規模の児童生徒の集団生活の中で、コミュニケーション能力、自尊感情や自己有用感を育み、協働的な学びを実現する学校
- ・情報・英語・キャリア教育など小中一貫教育の充実や学び・育ちの連続性を確保できる学校
- ・新学習指導要領への対応やICTの活用により、子どもの情報活用能力の向上と将来にわたる変化に対応できる学校
- ・読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館(ラーニング・コモンズ)の整備

② 安心して過ごせる生活環境、災害時にも安全な防災拠点の確保



- ・ユニバーサルデザインの導入やインクルーシブ教育の推進により、誰もが過ごしやすい学校
- ・教職員、保護者、地域との協働により、多くの大人たちの目が行き届き、児童生徒が安心して過ごせる環境
- ・たつの市、新宮町の豊かな自然環境を活かした生活・学習環境
- ・教職員の働く場としての機能向上により、児童生徒への教育・指導に集中できる職務空間
- ・耐震性の確保、浸水時にも安全な避難所など、防災機能の強化により、児童生徒や教職員、地域住民の安全が確保された学校

③ 地域に開かれた、新宮地域の核となる学校づくり



- ・新宮スポーツセンターや新宮図書館など周辺施設との連携や利活用による積極的な地域開放、文教ゾーンの形成
- ・既存各校の教育活動の特色や地域の伝統等を継承し、自分たちのふるさとを大切にし、新しい学校を自分達で作り上げていこうとする気持ちを醸成することができる学校
- ・セキュリティに配慮しながらも開放的な、地域住民に親しまれる学校
- ・新宮こども園との幼小中連携や児童生徒や教職員、地域住民など、多世代・多様な交流を生み出す環境
- ・伝統文化や産業、自然等のふるさとの素晴らしさと触れる機会を充実させるとともに、ICT 技術を活用した交流学習を推進

④ 環境に配慮した学校づくり



- ・脱炭素化の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現できる学校
- ・省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を積極的に行う学校
- ・児童生徒が環境教育を通して、環境保全への意識を醸成することができる学校
- ・地域題材を活かした環境体験など、環境教育を通して地域やふるさとを愛する心を育む学校

4. 必要諸室の検討

4-1 整備コンセプトを踏まえた施設整備

(1) 子どもの「学び」と「育ち」を培う

きめ細かな指導を行うための**少人数教室**や、多様な学習活動に対応するための**多目的室**や**小中交流スペース**の設置を検討します。小中交流スペースでは、日常的な異学年との交流、縦割り活動、学年行事、体験活動、児童生徒会活動を行い、協働的な学びを実現するとともに、人とかかわる力や人を大切にする心を育んでいきます。

(2) GIGAスクール構想の実現と図書館教育の充実

普通教室等は、ICTを活用した授業を想定した規模とします。また、調べ学習や探究学習、読書指導、図書館教育ができる大きなスペースを確保し**メディアセンター機能**を有する**図書室**を設置することで、学習の基盤となる言語能力、情報活用能力や問題発見・解決能力等を小中一貫して育成を図っていきます。

(3) ふるさとを愛し、大切にすることを育む

ふるさと学習に関する資料や統合する前の各小中学校の資料を取りそろえた**ふるさと学習室(メモリアルルーム)**の設置を検討し、歴史や伝統・文化に触れるふるさと教育を行い、ふるさとたつのを愛し、大切にすることを育んでいきます。また、ふるさと学習室等を活用して、従来からの地域とのつながりを継承し、地域からも愛される学校にしていきます。

(4) 小学生と中学生の発達段階に応じた教育環境

小学校棟と中学校棟を東西に分け、中央に管理棟・交流スペースを設けて**ゾーン分けを工夫すること**で、効果的に小中一貫した教育を行い、それぞれの教育カリキュラムが円滑に行える環境を確保します。また、児童生徒の発達段階に合わせた教育環境整備が必要な機能(特別教室や体育館、運動場など)については、小中別々に諸室を設け、豊かな教育環境を確保します。

(5) 不登校傾向等の児童生徒への環境整備

相談室や**適応教室**等を設置することで、不登校傾向児童生徒の居場所づくりに努めます。また、気持ちの落ち着かない児童生徒の実態に応じた部屋を各階に設け、対象児童生徒が落ち着きを取り戻して教室へ戻れるように工夫します。

(6) 小中学校の教職員が連携・交流

小中学校の職員室等の管理諸室は共用を基本とします。小中一貫教育を円滑に推進するために、職員室は**小学校と中学校それぞれの会議と合同の会議**ができ、**打合せスペース**も確保できるよう検討します。小中学校の教職員が一緒に研修やセミナー等を行える研修室・会議室を設けることで、教職員同士の連携・交流の促進を図ります。

(7) 防災機能の維持

避難所として利用が想定される**体育館**、**防災備蓄倉庫**、**主要設備機器類**等は、洪水時に浸水しない**高さに配置**し、防災機能を維持できるように計画します。

(8) 環境への配慮

省エネルギー化や再生可能エネルギーを積極的に導入できる計画とし、校舎屋上には**太陽光発電**の設置を検討します。

4-2 既存施設の利活用

小中一貫校に必要な施設に関して、既存施設の利活用の可能性の整理を行います。既存施設の老朽化や施設までの移動等の課題については、検討が必要です。

4-3 地域に開かれた学校

既存各校の地域開放の特色やカリキュラム等を踏まえて、ふるさと学習室を活用して、従来からの地域とのつながりを継承した活動を行うなど、地域からも愛される学校にしていきます。また、グラウンドや体育館についても、地域開放を進めます。

4-4 必要諸室

(1) 施設概要(想定)

- ・建築予定延床面積:約12,700㎡(鉄筋コンクリート造 4階建て)
- ・改修予定延床面積:約 3,650㎡(新宮スポーツセンター)

(2) 諸室構成(想定)

小中一貫校の諸室は以下を想定します。

エリア	室名	面積
普通教室	普通教室、特別支援教室	2,088㎡
多目的	小中交流スペース、ふるさと学習室(メモリアル)、多目的室	864㎡
特別教室	(小学校) 英語室、理科室、理科準備室、図工室、図工準備室、家庭科室、家庭科準備室、生活科室、音楽室、音楽準備室・楽器庫、少人数教室、児童会室、教育相談室、通級指導教室 (中学校) 英語室、理科室、理科準備室、美術室、美術室準備室、技術室、技術準備室、家庭科室(調理)、家庭科室(被服)、家庭科準備室、音楽室、音楽準備室・楽器庫、少人数教室、生徒会室、教育相談室、通級指導教室 (共用) 図書室、教育相談室、適応教室	2,808㎡
管理諸室	職員室、校長室、事務室、用務員室、会議室、研修室、放送室、スタジオ、保健室、教材室、職員更衣室	1,020㎡
その他	昇降口、給食配膳室、備蓄防災倉庫、便所、職員用便所、廊下等共用部	4,580㎡
体育施設	第一体育館(更衣室、WC、倉庫含む)、第二体育館(更衣室、WC、倉庫含む)、柔道場、プール付属室、共用部	4,344㎡
施設外	放課後児童クラブ、大会議室、体育倉庫、部室、屋外WC、駐車場、駐輪場	650㎡
合計	新校舎新築	12,704㎡
	既存スポーツセンター改修	3,650㎡
敷地合計:38,000㎡		

※ 想定諸室については現時点での想定であり、変更となる場合があります。

5. 計画地の検討

5-1 敷地選定について

想定される敷地について、現在の新宮小学校敷地を中心に3敷地を選定し、用途地域、立地・周辺状況、事業期間などの観点から、比較検討を行いました。

各敷地の概要は、以下のとおりです。

①案：新宮小学校敷地に加えて、隣接する新宮スポーツセンター、新宮スポーツセンター南側農地及び新宮こども園の敷地を、小中一貫校の敷地として拡張

（新宮スポーツセンターは学校施設として活用、新宮スポーツセンター南側農地を用地取得・造成、新宮こども園は新宮小学校敷地東側の農地に移転）

②案：龍野北高等学校南側の農地を、小中一貫校の敷地として用地取得・造成

（想定敷地内の水路の付け替えが必要）

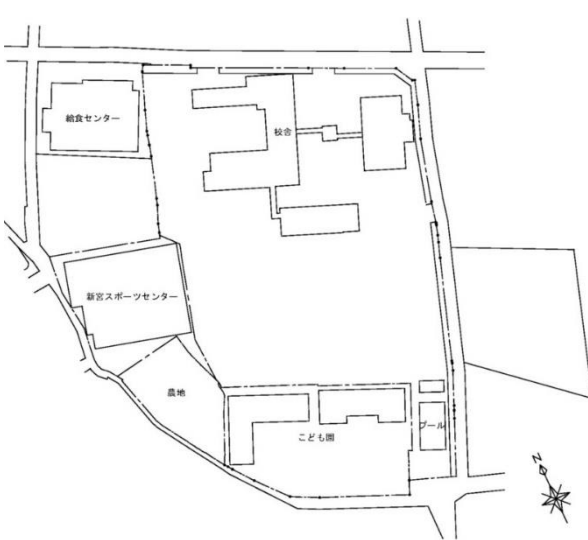
③案：新宮総合支所西側の農地を、小中一貫校の敷地として用地取得・造成

（想定敷地内の市道の付け替えが必要）

周辺施設の活用や幼小教育連携、都市計画上の区域区分、事業期間等の観点から、新宮小学校敷地を拡張して建設する①案を小中一貫校の敷地として選定します。

5-2 敷地の概要

小中一貫校は、現在の新宮小学校、新宮スポーツセンター等の拡張した敷地に建設することとし、主な敷地特性を以下に示します。

項 目	内 容	計画予定地
所 在 地	たつの市新宮町新宮437番地 等	
敷 地 面 積	約38,000㎡	
都市計画区域	市街化区域	
用 途 地 域	第一種中高層住居専用地域	
建 ぺ い 率	60%	
容 積 率	200%	
特別用途地域	—	
地 区 計 画	—	
居住誘導区域	居住誘導区域	
都市機能誘導区域	都市機能誘導区域	
道 路 斜 線	適用距離20m、勾配1.25	
隣 地 斜 線	適用距離20m、勾配1.25	
日 影 規 制	敷地境界から5mを超え10m以内：4時間以内 敷地境界から10を超える範囲：2.5時間以内 測定面：4m	
接 道	北側：新宮小学校線20108 東側：新宮3号線21198 南側～東側：新宮宮内線21196	

※新宮スポーツセンター、新宮スポーツセンター南側農地及び既存新宮こども園の敷地面積を含む。

※新宮スポーツセンター及び買収予定の農地は市街化調整区域であるが、都市計画区域に編入予定

6. 施設計画の検討

(1) 計画における主な配慮事項

①配置計画

- ・小中連携を図りつつも、小学校、中学校のゾーン分けに配慮した配置計画とします。
- ・グラウンドは可能な限り整形で広く、日当たりの良い環境を確保します。
- ・既存施設(新宮スポーツセンター)は学校施設の一部として有効活用し、新校舎とは渡り廊下で接続し、児童生徒の体格差に配慮した校舎配置及び動線計画を検討します。
- ・敷地への通学動線(歩行者、自転車、スクールバス)のアプローチ動線に配慮した計画とします。特に、現在、学校敷地の東側道路に歩行空間がないため、歩道の整備等により安全性を確保します。
- ・スクールバスの運用を想定し、敷地内に停車スペースを確保した計画とします。

②諸室計画

- ・普通教室は、採光に配慮し、南側配置を基本とします。
- ・セキュリティや安全面に配慮し、職員室などの管理諸室から、各施設を視認しやすい配置計画とします。
- ・洪水等の被災時に学校施設を避難所として利用できるよう、浸水しない高さに第2体育館を配置し、避難所機能を維持できる計画とします。

(2) 配置案



※この図面は、施設の規模や概算工事費を算出するために作成したものであり、決定したものではありません。

7. 概算事業費の検討

(1) 概算事業費の内訳(税込)

項目	事業費(百万円)
建設費	6,990
仮設校舎費	429
外構工事費	617
解体工事費	432
設計・監理費等	561
用地取得費	32
造成費	41
こども園移転整備費	738
合計	9,840

8. 事業スケジュール

本事業のスケジュールは以下のとおり想定しています。小中一貫校の供用開始については、令和10年(2028年)4月を目指します。

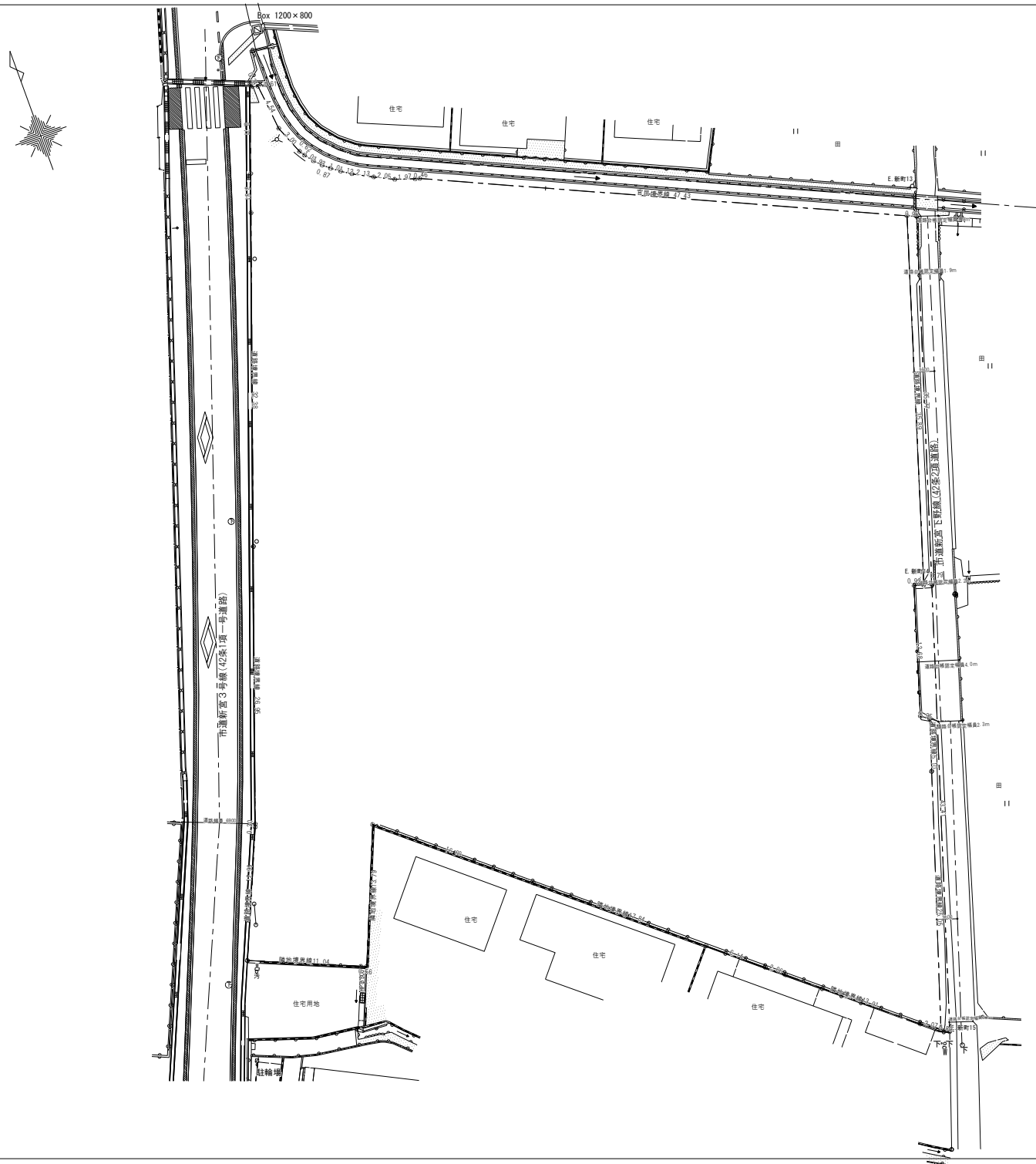
◻ : 事業者選定期間

	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)
新校舎	◻基本設計・実施設計		◻建設					
仮設校舎		◻設計・建設	◻供用期間			◻解体		
仮設用地 造成	◻設計	◻造成						
解体			◻校舎等					
外構					◻1期工事			◻2期工事
こども園※1					◻基本設計・実施設計	◻建設	◻既存解体	

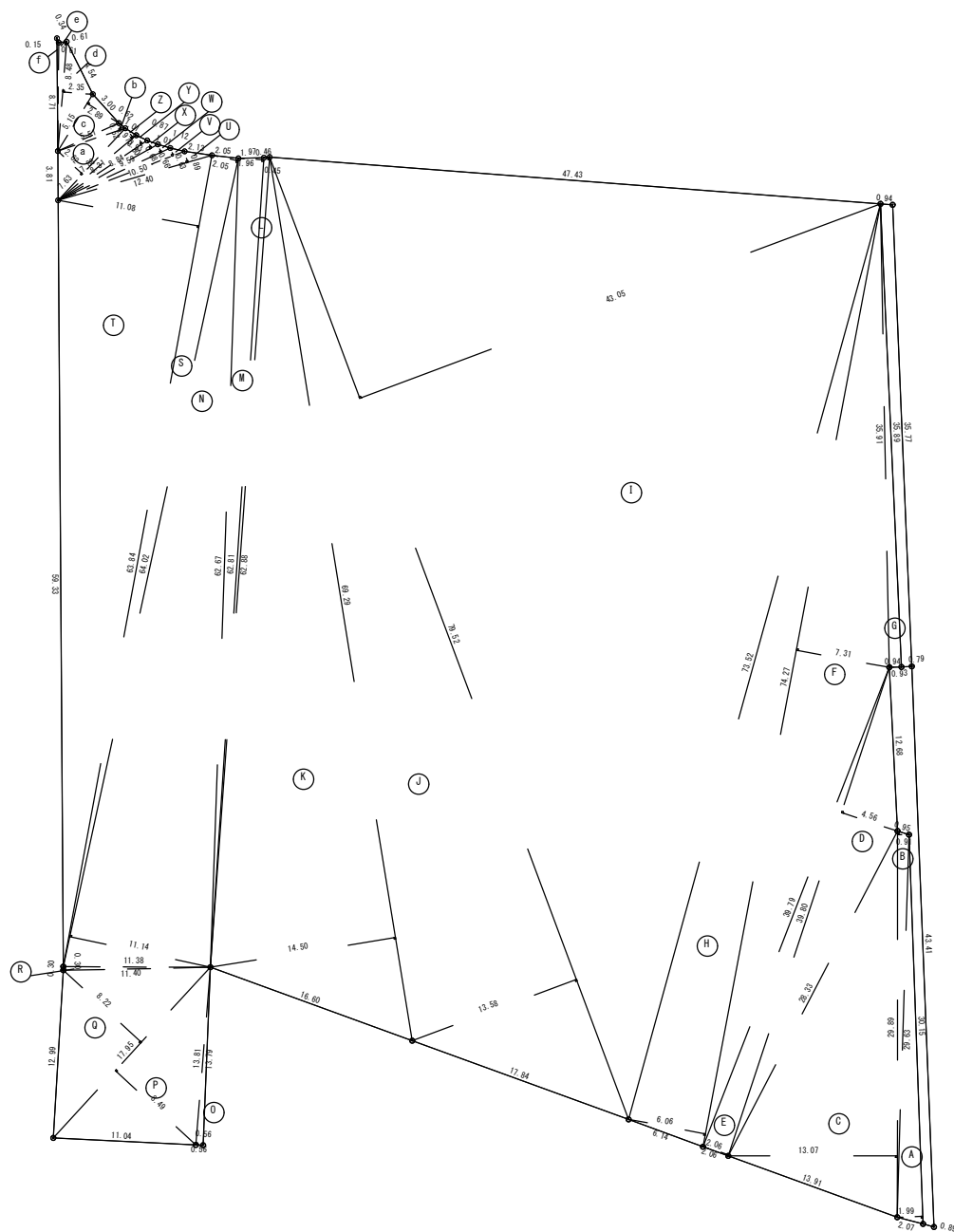
※1こども園移転工事

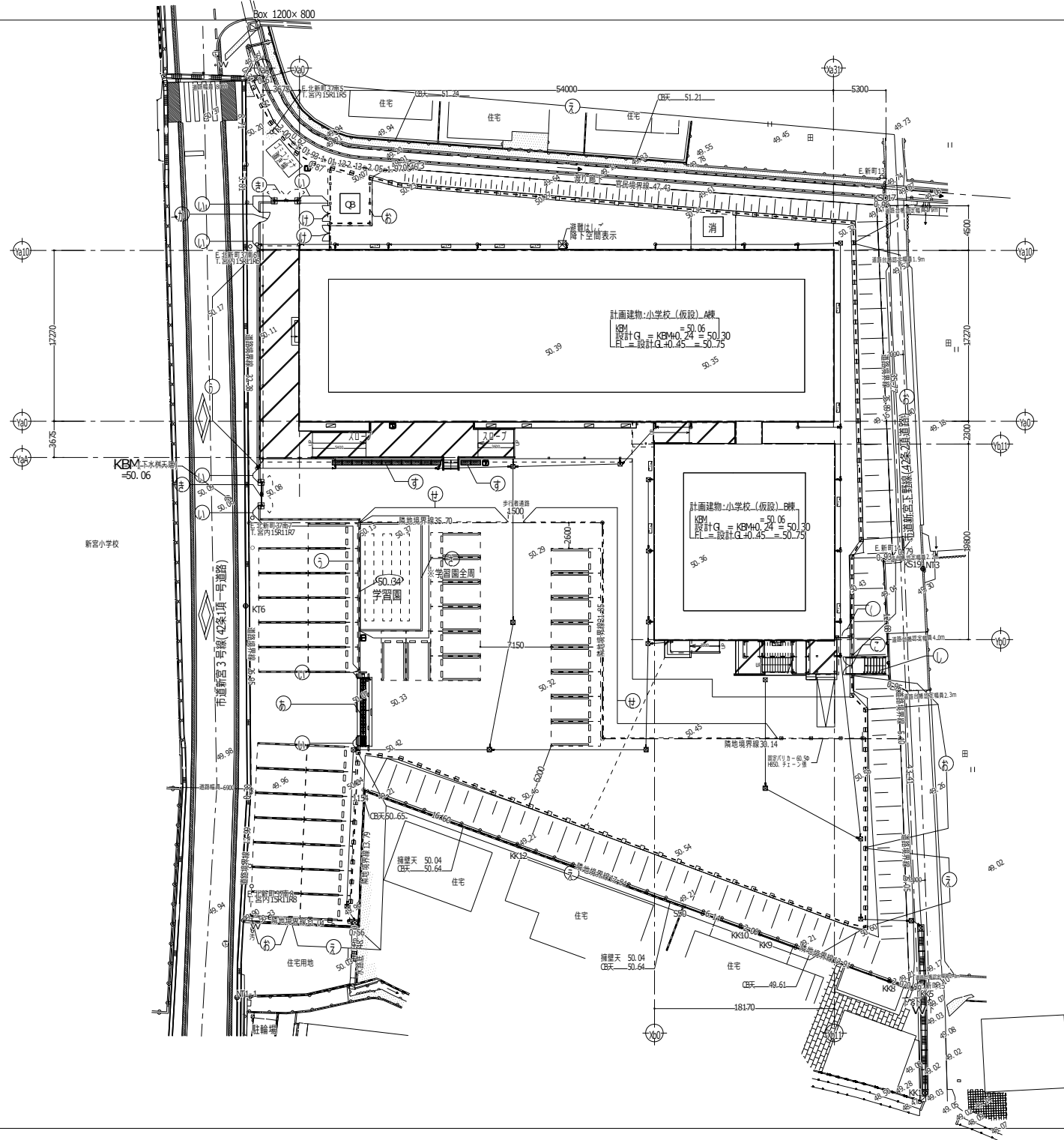
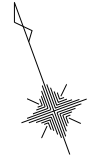
新校舎
供用開始

こども園
供用開始

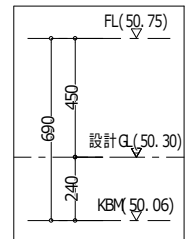


工事名称	新宮こども園整備事業		
図面名称	配置図	縮尺	S=1/400
		図面番号	

[illegible]



- ㊦ アルミ大型伸縮門扉 W5.8m片引 H=1400
- ㊩ RC袖壁 W=150 H=1500
- ㊮ メッシュフェンス H=1500
連続基礎 W=150
- ㊯ 目隠しフェンス(遮音)H=2000
独立基礎
- ㊰ メッシュフェンス H=2000
独立基礎
- ㊱ アルミ製片開き戸(既製品)W=1.1m H=1500
- ㊲ アルミ製両開き戸(既製品)W=2.2m H=1500
- ㊳ メッシュフェンス門扉(既製品)W=0.835m H=2000
- ㊴ メッシュフェンス門扉(既製品)W=1.6m H=2000
- ㊵ メッシュフェンス門扉(既製品)W=2.0m H=1750
- ㊶ 歩車道境界ブロック
- ㊷ 鋼製階段
- ㊸ 植栽用プランター
- ㊹ メッシュフェンス H=1000
独立基礎



工事名称	新宮こども園整備事業		
図面名称	参考 現状配置図	縮尺	1:400
		図面番号	

住所 : 兵庫県たつの市新宮町新宮 地内



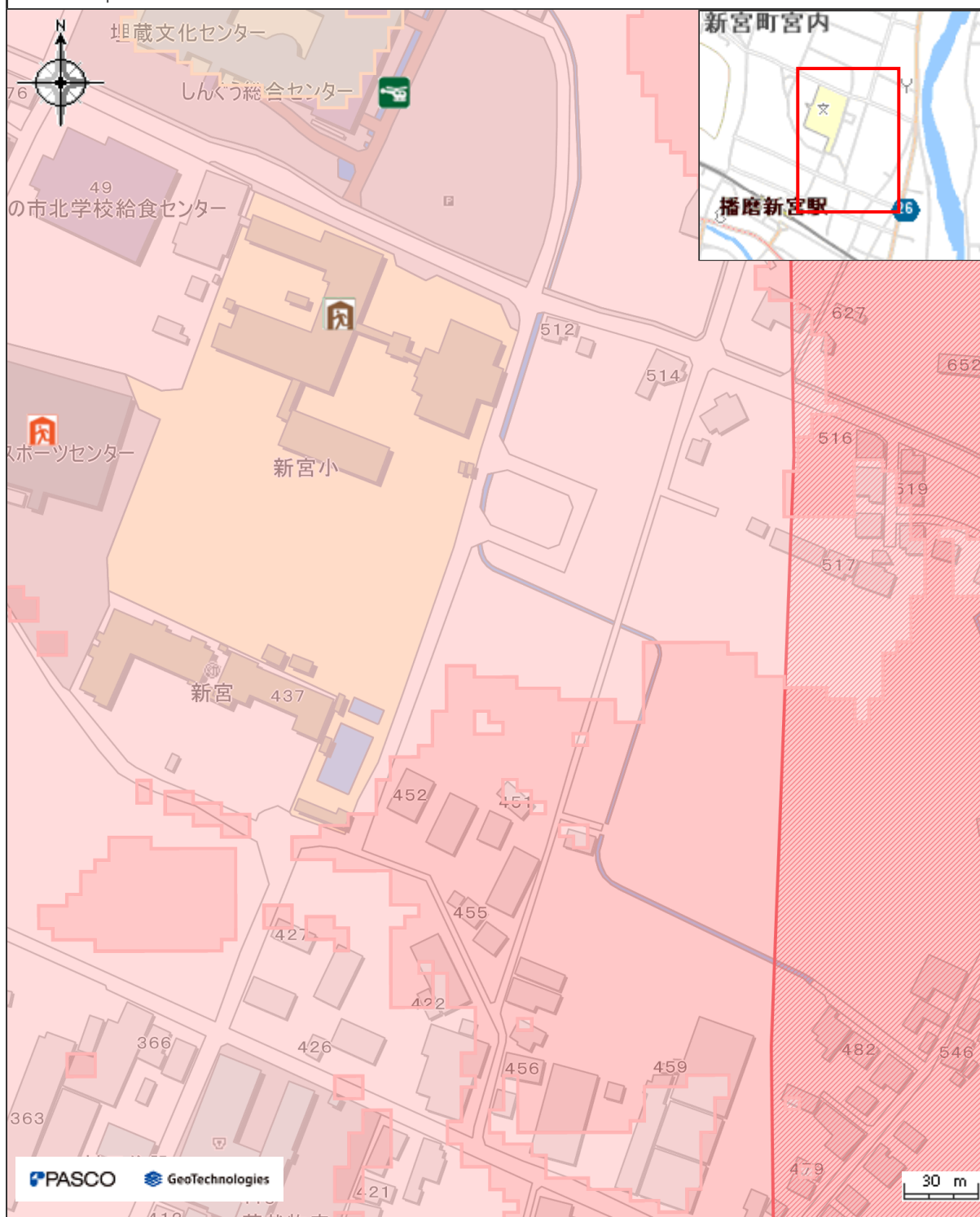
付近見取図

配置上の主な条件

- ① 施設利用者の主動線は、西側市道（市道新宮3号線）からとすること。
- ② 保育室は採光に配慮し、原則、南面若しくは東面に配置すること。
- ③ 歩行者と車両、駐車場と園庭など、明確に分離し、施設利用者の安全に配慮すること。
- ④ 東側市道（市道新宮下野線）から歩行者用の入口を1箇所設けること。

ハザードマップ

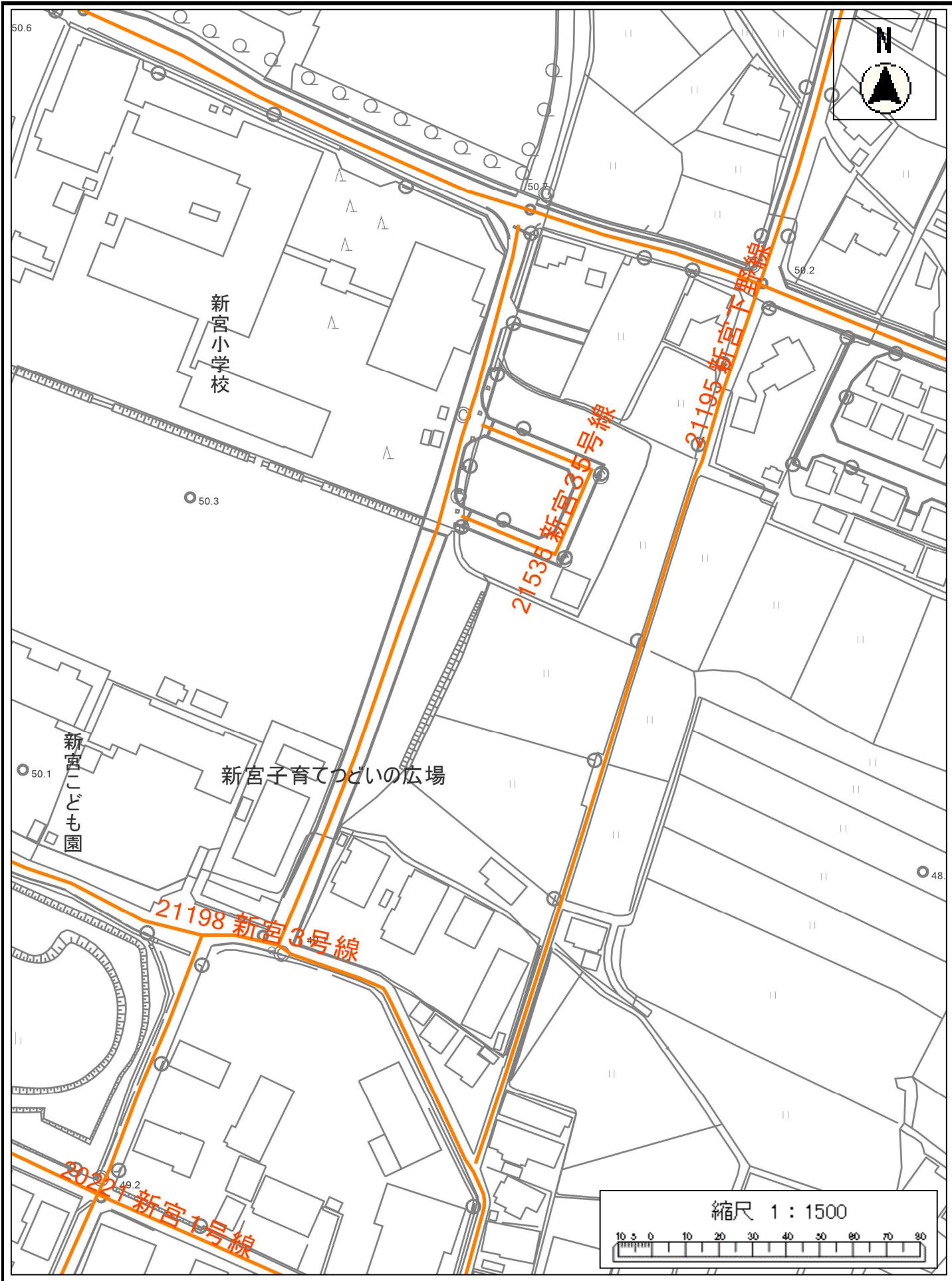
中心地 | たつの市新宮町新宮 付近

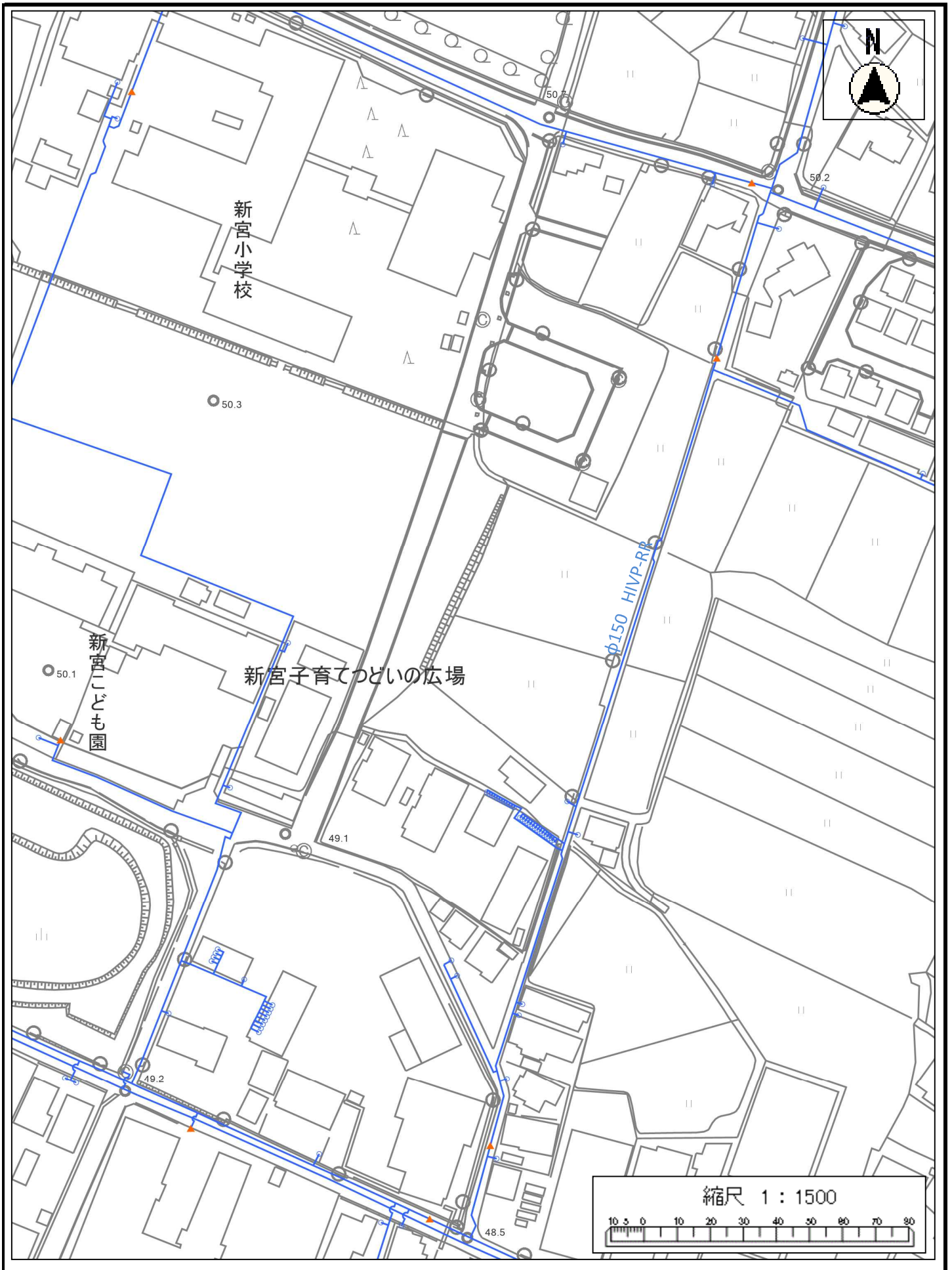


凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 洪水浸水想定区域_0.5_3.0m未満
- 洪水浸水想定区域_3.0_5.0m未満
- 洪水浸水想定区域_5.0_10.0m未満
- ヘリポート
- 一時避難場所
- 二次指定避難所
- 市役所・支所
- 指定避難所

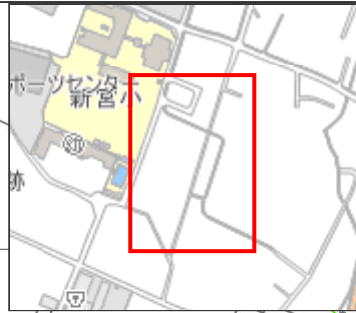
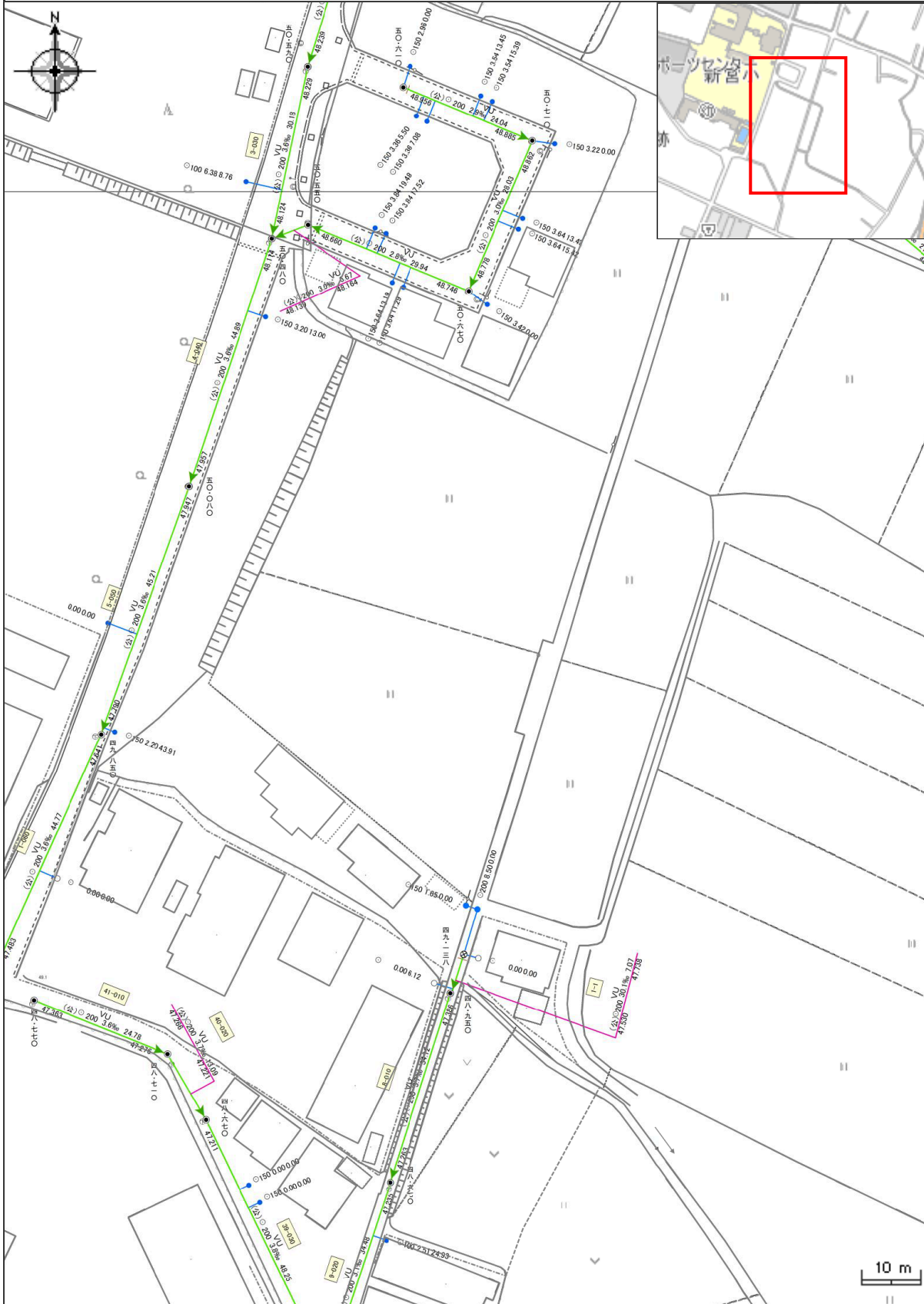
印刷日時:2026/05/21 18:35:25





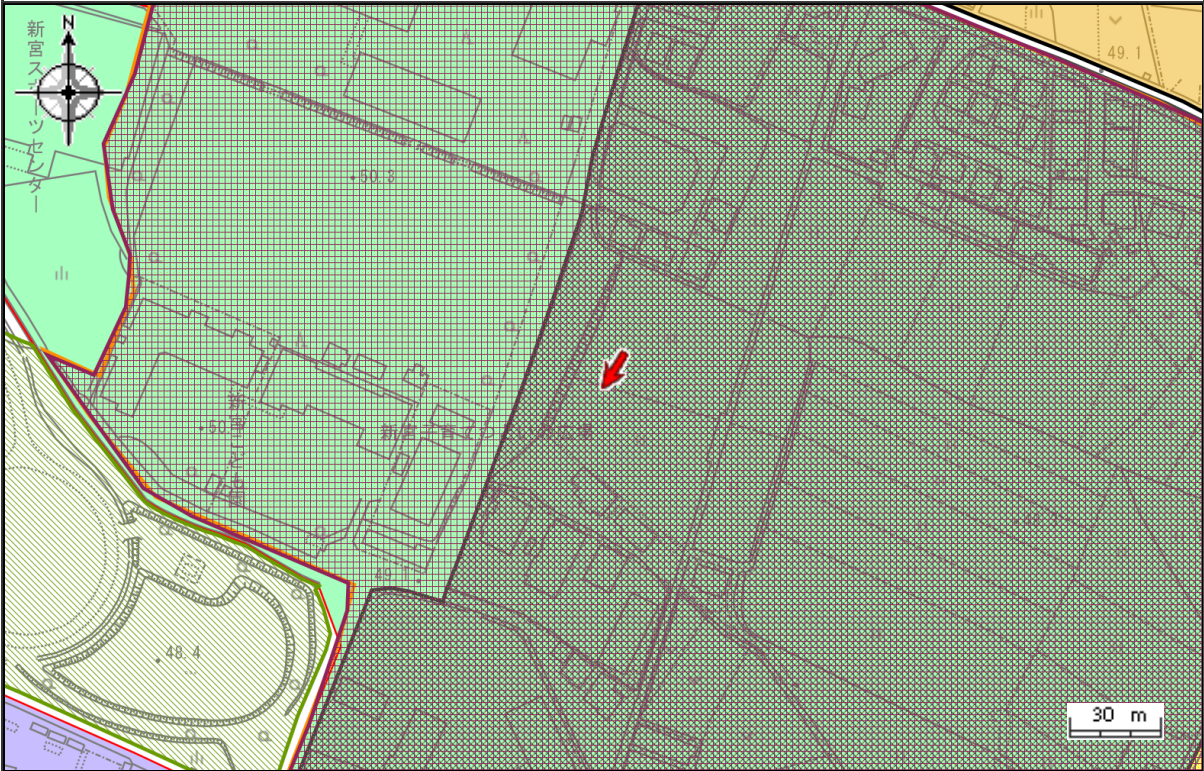
下水道台帳

中心地 | たつの市新宮町新宮 付近



都市計画

中心地 | たつの市新宮町新宮 付近



都市計画区域	都市計画区域	都市計画区域	都市計画区域
用途地域	第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	区域区分
第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	市街化区域
準住居地域	近隣商業地域	商業地域	用途地域
準工業地域	工業地域	工業専用地域	第一種中高層住居専用地域
都市計画道路	都市計画道路	特別用途地区	建蔽率：60% 容積率：200%
特別用途地区	特別用途地区	高度地区	-
高度地区	第1種高度地区	高度地区	高度地区・第1種
第2種高度地区	第3種高度地区	地区計画	-
地区整備計画・地区計画	地区計画（市街化区域）	都市計画公園	-
都市計画公園	都市計画公園	特別指定区域	-
特別指定区域	地域振興のための工場	居住誘導区域	居住誘導区域
流通業務施設	新規居住者	都市機能誘導区域	都市機能誘導区域
工場等誘導区域_幹線道路活用型	地縁者		
工場等誘導区域_地域産業発展型			
立地適正化計画区域	都市機能誘導区域		
	居住誘導区域		

著作権法上認められた行為を除き、掲載されている内容を無断で複製・転用することを禁じます。

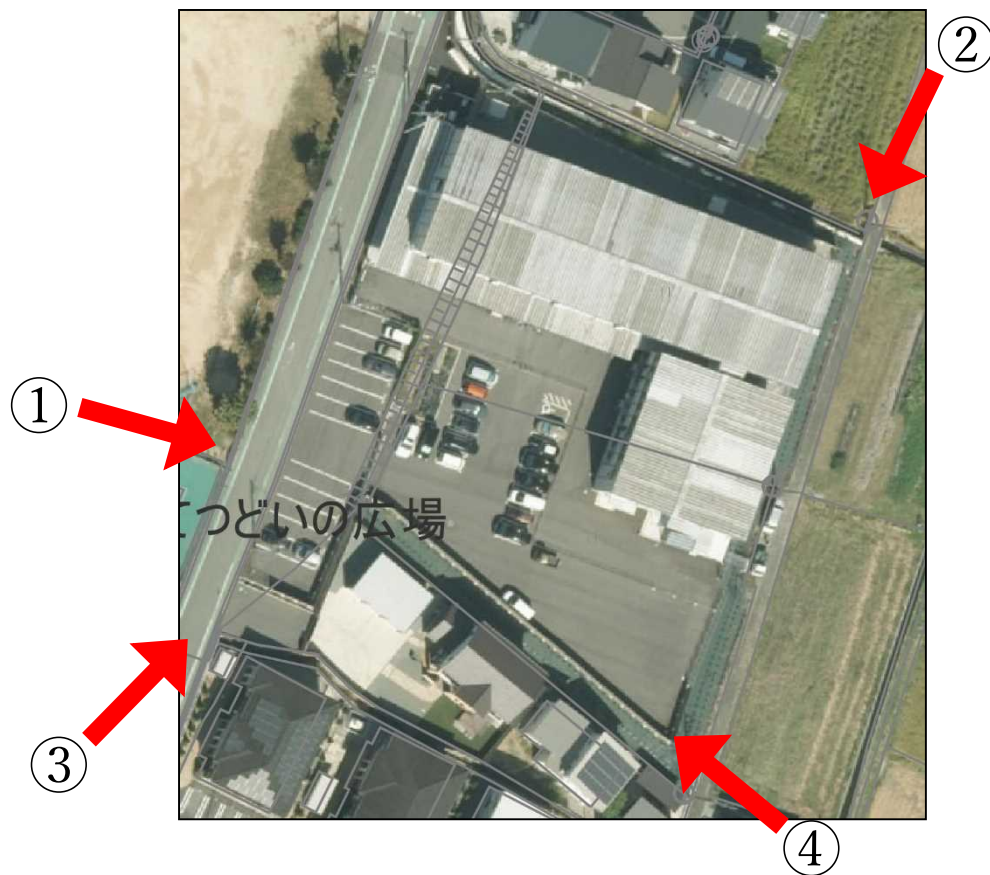
この図は本市の都市計画に関する証明ではありません。参考図としてご利用ください。

都市計画情報

2026/5/8 9:33:56

Copyright Tatsuno City. All Rights Reserved.

印刷日時:2026/05/08 09:33:56



①西側より撮影



②北側より撮影



③南西より撮影



④南東より撮影